

2017年（平成29年）6月28日

お知らせ

資料提供先：浜田記者クラブ  
益田記者クラブ

**川の生き物**で、川が**キレイ**か分かるの?!  
～児童と生徒が匹見川で、**水生生物調査**を実施～

国土交通省浜田河川国道事務所では、益田市内で唯一協力して頂ける、西益田小学校と横田中学校の合同で、7月4日（火）に水生生物による水質の簡易調査を実施します（小雨決行）。これは児童と生徒に川底の生物を採取してもらい、その種類や数を調べることで、川の水質を簡単に知ってもらうのが目的で実施するものです。

問い合わせ先：国土交通省 浜田河川国道事務所

	副所長（河川）	<small>かねはら</small> 兼原	<small>かつひで</small> 勝英
（担 当）	高津川出張所長	<small>まにわ</small> 真庭	<small>としゆき</small> 利幸
（広報担当）	調査設計課長	<small>ひらの</small> 平野	<small>みきひと</small> 幹人

TEL 0855-22-2480（代表）

URL <http://www.cgr.mlit.go.jp/hamada/>

## 水生生物調査の概要

### 1. 実施目的

河川の中には、さまざまな生物が、それぞれに適した環境のもとで生息しています。特に、川底に生息する生物は、水質の影響を受けやすく、長時間にわたって一定の場所に生息しているので、川の水質状況を的確に反映しています。

この「水生生物による水質の簡易調査」は、皆さんに水遊び感覚で川底の生物を採取して頂き、その種類や数を調べることで川の水質を簡単に知ることができます。また、調査をとおして川を身近に感じてもらい、河川愛護・水質浄化などへ関心を持って頂ければと考えております。

この調査は、昭和59年より全国の1級水系で行っており、毎年この時期に、小・中学生に参加して頂き実施しています。調査を重ねる毎に、高津川流域では河川に関心を持つ人が増えてきたものとうれしく思っております。今後も更に多くの方々の参加を得て、この調査を継続して実施し、川に親しんで頂きたいと考えております。

### 2. 実施箇所日時

益田市横田                      平成29年7月4日（火）10:00～12:05  
（延期予備日：平成29年7月6日（木）10:00～12:05）  
（西益田小学校4年生41名、横田中学校2年生38名）2校合同による調査

（ ）は、各学校の生徒さんの参加予定者数です。

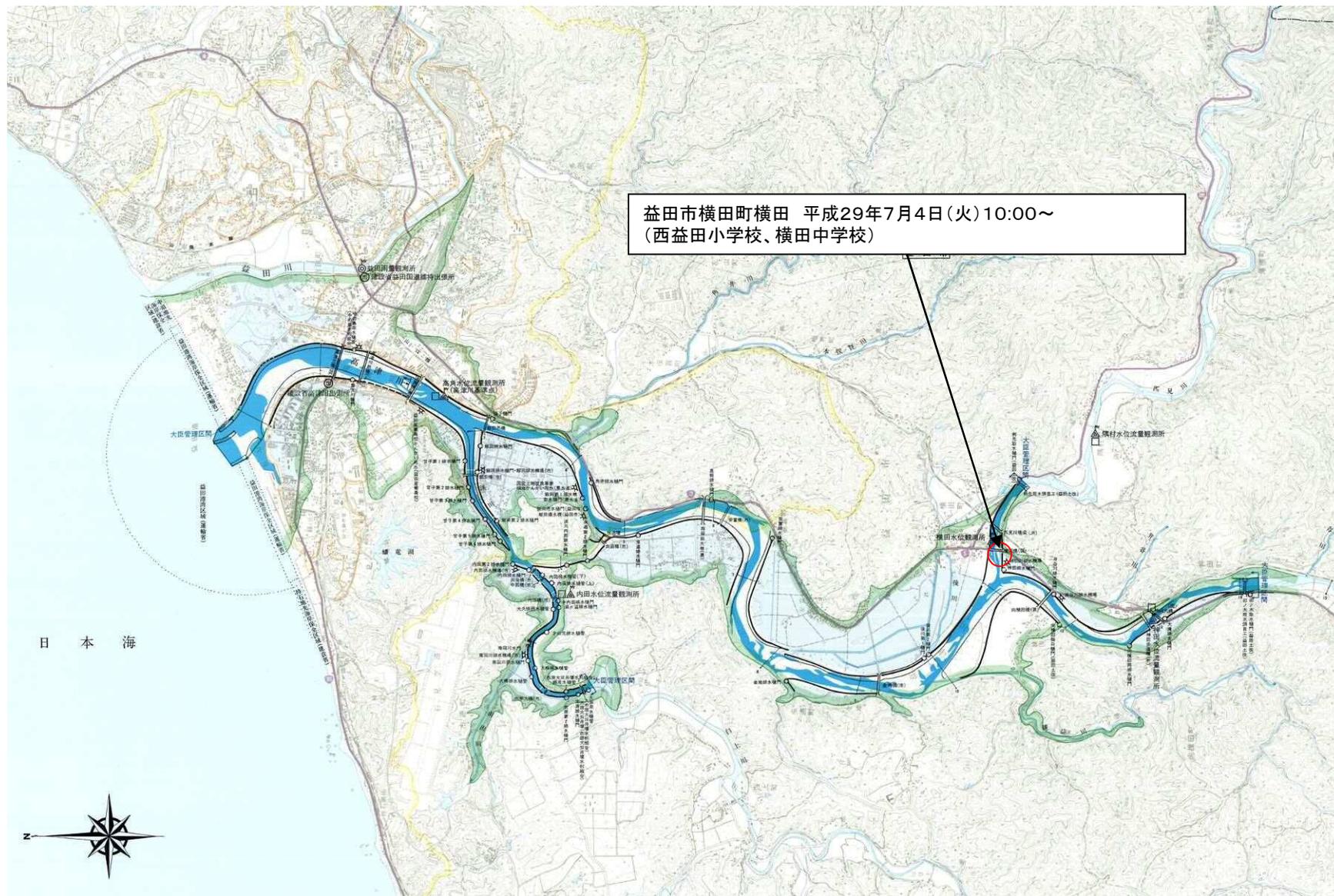
**※小雨決行（大雨、上流域の大雨による増水は中止）**

### 3. 実施位置図      別紙図のとおり

### 4. 昨年の調査の様子

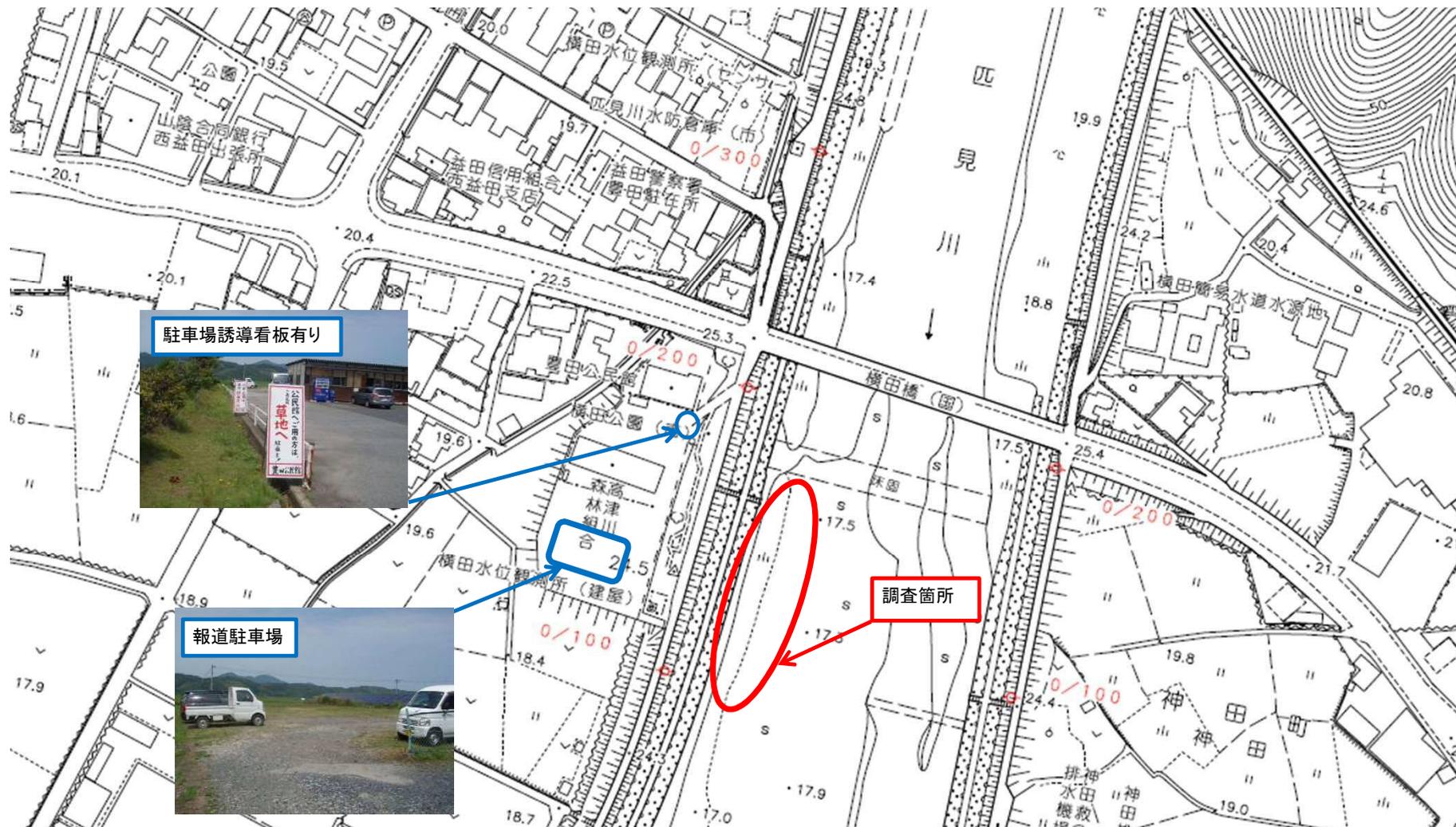


# 水生生物調査箇所(高津川)



※小雨決行(大雨、上流域の大雨による増水は中止)

横田調査箇所(豊田公民館付近)  
平成29年7月4日 10:00~12:05 (予備日7月6日)  
西益田小学校・横田中学校 79名



# 川の生きものを調べよう

## 水生生物による水質判定

### I きれいな水

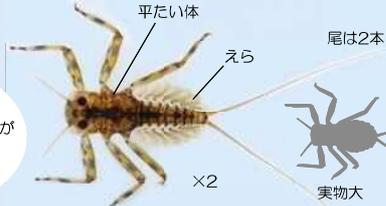


ナミウスミシ

石の表面にはついていて、のちのちのち、伸び縮みする中・下流部には外来種がいることがある



耳状のどがった突起  
もよう  
また、体に模様があるのも外来種  
外来種  
アメリカツノウスミシ\*



ヒラタカゲロウ類

流れの速い石の表面にはついていて



カワゲラ類

体がかんじょうな感じがする石の下やすき間にいる



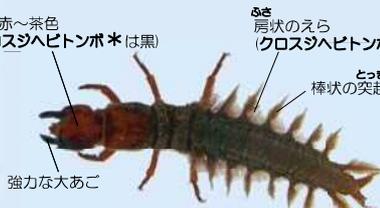
アミカ類

腹面に吸盤があり、急流の岩や石にはついていて



サワガニ

体色は赤色、茶色、青白色のものがあるが、同じ種類である



ヘビトンボ

流れの速い石の下にひそんでいて、えものおそう



フユ類

急流の岩や石に吸盤ではりついている集団をつくり、石が黒く見えることもある



ナガレトビケラ類

流れの速いところにいる



ヤマトビケラ類

流れの少しゆるやかなところの石面に多い



ヨコエビ類

上流の石の下や水中にたまった落葉の間にいる



最も最後の足が、その前の足より短い

外来種  
フロリダマミズヨコエビ\*



タニガワカゲロウ類

体はヒラタカゲロウ類に似ている流れの速いところにいる

### I, II 両方でみられる水生生物 (指標種ではない)

### II ややきれいな水



カワナナ類

流れの少しゆるやかなところにいる  
外来種のコモチカワツボ\*は数mmと小型



コオニヤンマ

流れが少しゆるやかなところにいる



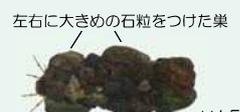
ヒラタドROMシ類

石の表面にはついていて



ヒゲナガカワトビケラ類

流れの速い石の間に網をはってえさを集める  
体色は茶~黒色



ニンギョウトビケラ類

流れが少しゆるやかなところの石面にいる



コガタシマトビケラ類

頭部の前縁に浅い凹みがある



ゲンジボタル

流れが少しゆるやかなところにいる  
カワナナをえさとする



ぜんきょう  
もよう  
前胸の模様が異なる

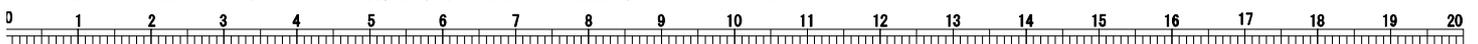
ゲンジボタル ハイケボタル\*



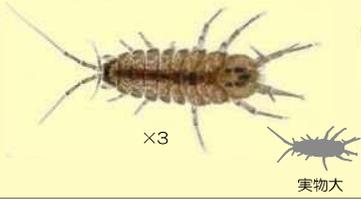
オオシマトビケラ

流れが少し速いところにいる

\*のついている生物はよく似ていますが指標種(水質判定に使う水生生物)ではありません。



### III きたない水



ミズムシ

落葉のあるところではきれいな水にもいる



実物大

シマイシビル

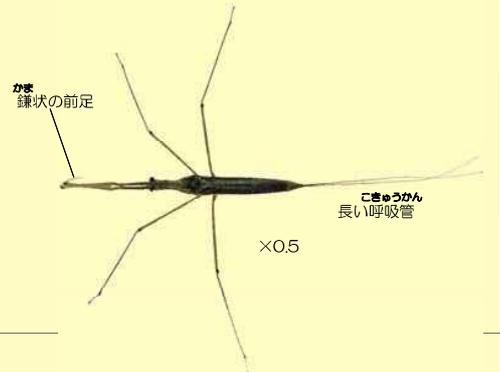
だてしほもよう  
背中に縦縞模様がある  
の  
伸びたり縮んだりする  
さへうばん  
尾の先に吸盤がある



実物大

タニシ類

流れのゆるやかなところにいる



ミズカマキリ

川では川岸の草の中などにいる

### IV とてもきたない水



x2.5

エラミミズ

びく 尾部にえらがある  
流れのゆるやかなところにいる



実物大

左側  
x4

右側  
x4

サカマキガイ

まきがい 多くの巻貝と違い、左巻き  
流れのゆるやかなところにいる

モノアラガイ類\*



x0.5

アメリカザリガニ

北アメリカ<sup>げんさん</sup>原産の外来種  
流れのゆるやかなところにいる



x5

ユスリカ類

びく 腹部に2対(4本)または1対(2本)のひも状のえらがある  
瀬でみられる赤いユスリカはセスジユスリカやハイロユスリカが多い



x6

実物大

チョウバエ類

びく 腹部背面にかたい部分(キチン板)がある

### 汽水域(海水が混じっているところ)

#### II ややきれいな水



実物大

実物大

かちょう

大型個体は殻頂が欠ける

実物大

外来種  
タイワンシジミ\*

実物大

イシマキガイ

ごはん 石や護岸にはついている  
たんすいせい 淡水域にもいることもある

ヤマトシジミ

砂や泥の中にある  
たんすいせい 淡水域にはマシジミ\*や外来種の  
タイワンシジミ\*がいる

#### III きたない水



x4

実物大



x4

イソコツブムシ類

石の下にいる  
さわると丸くなる



x4



x4

実物大

ニホンドロソコエビ

泥の上や中にある  
河川の上・中流部にも淡水性のヨコエビ類がいる

\*のついている生物はよく似ていますが指標種(水質判定に使う水生生物)ではありません。